

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	中国語オーラルコミュニケーションⅠ		
担当者(Instructors)	竹越 美奈子	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

初めて中国語を学ぶ人が対象です。(外国語科目なので、中国語ネイティブの方はご遠慮ください)中国語総合Ⅰとともに履修することを勧めます。このクラスと後期に開講される「中国語オーラルコミュニケーションⅡ」を履修することにより、HSK(漢語水平考試)の2級(身近な日常的なことについて簡単なやりとりができるレベル、語彙数300程度)程度の語学力をつけることを目標としています。発音の基礎を学んだ後、実践的コミュニケーション能力を育成する観点から、日本の大学生に身近な12の話題を学びます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	各課では、語彙、会話、文法、4技能習得、確認問題、発展アクティビティの順に学び、着実に学習を進めていきます。毎回授業の後半で発音小テストを行います。授業以外の自習を支援するための教材も用意されているので、それらを課題として出すこともあります。効果的と認められる場合、リモートによる授業を3回程度実施することがあります。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	授業の進め方/履修上の注意/各種中国語の検定試験/HSKとは?	<input type="checkbox"/>
第2回	発音編(1)	声調/母音	<input type="checkbox"/>
第3回	発音編(2)	子音/鼻母音/音節/数字とあいさつ	<input type="checkbox"/>
第4回	第1課 おなまえは?(1)	人称代名詞/「是」の文/疑問文/副詞「也」	<input type="checkbox"/>
第5回	第1課 おなまえは?(2)	練習/確認/発展アクティビティ	<input type="checkbox"/>
第6回	第2課 おうちはどこですか?(1)	指示代名詞/動詞「在」/「有」の文/量詞/2桁の数の言い方	<input type="checkbox"/>
第7回	第2課 おうちはどこですか?(2)	練習/確認/発展アクティビティ	<input type="checkbox"/>
第8回	復習と確認テスト	復習と確認テスト	<input type="checkbox"/>
第9回	第3課 お元気ですか?(1)	形容詞述語文/反復疑問文/程度副詞/お祝いの言い方	<input type="checkbox"/>
第10回	第3課 お元気ですか?(2)	練習/確認/発展アクティビティ	<input type="checkbox"/>
第11回	第4課 何時に授業は始まりますか?(1)	名詞述語文/動詞述語文/連用修飾語/連動文/時間の言い方	<input type="checkbox"/>
第12回	第4課 何時に授業は始まりますか?(2)	練習/確認/発展アクティビティ	<input type="checkbox"/>
第13回	第5課 趣味は何ですか?(1)	疑問詞疑問文/構造助詞「的」/助動詞「会」と「可以」/感情や態度を表す動詞/副詞「都」	<input type="checkbox"/>
第14回	第5課 趣味は何ですか?(2)	練習/確認/発展アクティビティ	<input type="checkbox"/>
第15回	復習と確認テスト	復習と確認テスト	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

授業の前にDVD教材でスキット会話を見て予習をし(30分程度)、授業後は、復習教材を利用して音読練習や発音判定、並べ替えによる文型練習などを30分程度行う。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

始めは特に発音が重要です。できるだけ毎回発音の小テストをして、ひとりひとりの発音指導をします。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	中国語に関する幅広い知識を習得して、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	中国語に関する知識と自らの経験をもとに、創造的に考えて、問題を的確に判断することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
授業時間内に筆記テストと発音テストを実施します。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	KOTOTOMO (ことばを友に)	9784255452951
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		